

静岡県スキー協通信

静岡県スキー協議会
№73 (2019年度 1号)
2019年10月6日
発行者 長島 信三
編集者 神山 耕一

1. 第28回総会の報告

6月30日(日)第29回静岡県スキー協総会を3クラブ(わたゆき:ゆきんこ:ボーゲン)の代議員の出席のもと北部生涯学習支援センターで行いました。

県スキー協の行事(正月スキーツアー・スキー教程学習会)、東海ブロック・全国スキー協議会の行事参加報告が、それぞれの担当者からありました。



2018年度活動報告 (総会資料より、抜粋)

2018年度も静岡スキー協・東海ブロック・全国スキー協の各行事に取組ました。今シーズンは、雨が少なく安定していたので5月までスキーを楽しめました。また、スキー協50周年のスキーウェアを着て滑る事も楽しみました。

第46回正月スキーツアーは28名の参加で、レンタカーを用意することなく車の調整ができました。インフルエンザで突然のキャンセルがありましたが、雪は十分あり木島平・野沢温泉スキー場の新雪を楽しめたと思います。杉山健太君にをお願いしたことが、また違う刺激になり良かったので来シーズンに繋げたいと思います。

第26回春スキーを計画しましたが、参加者不足(前後の行事:ポール練習・全国50周年・第2戦)のため中止しました。来年からどう取り組むのか、全国競技会に参加することなど話し合っしてほしいと思います。

東海ブロックの行事は、10月のスキー学習交流会から3月の第2戦・ポール練習まで8行事に取組み、スキー技術を学び、交流を深めました。

全国スキー協の行事は、創立50周年記念行事(キューピッドバレー)に参加を提案し、わたゆき1名・ゆきんこ4名・ボーゲン1名の計6名で競技大会に参加しました。

毎年思いますが、70代80代のスキーヤーがスキーを楽しんでいます。スキーは個人スポーツですが、気力体力を維持していくには仲間が必要で、それがクラブ・静岡スキー協・東海ブロック・全国スキー協だと思います。

2. 8/18 理事会 検討事項

●29回総会総括

- ・総会が過去1年の行事内容の報告で多くの時間が費やされるのは、参加者にとって楽しいとは言えない。
- ・総会では、行事報告は通常通り作成して会員に配布するが、写真や動画をメインにした構成とし、視覚に訴えることで総会参加者に行事がわかりやすくなるようにする。

- ・各行事で写真、ビデオ撮影を行い、また参加者に行事の感想をもらう。

- ・ビデオ撮影用に県でビデオカメラを購入する。

- ・参加者がこの1年のうまくできたこと、できなかったことなど次のスキーシーズンに向けた話ができるようにする。

●正月スキー

- ・内容は例年と同様、30、31日は木島平、1日は野沢温泉スキー場とする。

- ・ここ数年、雪が少なくポール競技ができるか不安があるが、競技用のポールは必ず持っていく。

- ・前回好評だったので、今回も杉山健太さんにコブスクルールをお願いする。

- ・参加者に応じて10人乗りのレンタカーを借りる用意をする。

- ・集合場所やスキー教室などの事前連絡があいまいだったところがあるので事前連絡を確実に行う。

・10月以降消費税が上がるので、竜王荘の宿泊料金も上がる可能性があるので確認する。

●春スキー

・スキー場はとりあえず参加費が安くできる赤倉スキー場とする。他のスキー場も検討する。

・3月の後半は雪が解けて危険なので、3月7, 8日の日程とする。

・前後に東海や全国のスキー行事がある為か、春スキーの参加者が少ない。今後も県の行事として行うか検討する。

3. 2018年度スキー協行事

雪上講習会

11月17日(日) イエティスキー場
ゲレンデ上部に9:00 集合

正月スキー

12月29日(月)夜 - 1月2日朝

2日間は 木島平スキー場

最終日は 野沢温泉スキー場を予定

定員 28 名です。

春スキー

3月7(土) - 8日(日)

赤倉観光スキー場 (予定)

4. 東海ブロックの行事

【スキー交流学習会】9月7-8日

講演テーマ 80 歳になってもスポーツを続けるための
筋力トレーニング 講師: 石田良恵先生



今回で3回目になりますが、いつ見ても若さがあふれます。講演テーマを本当に実践している姿に感動で

す！



スキーシーズンに向け、バランスボールを使った体幹を鍛える運動や、外向傾姿勢を確認するための運動などを行いました。



シーカヤックの体験もありました。

5. 各クラブの活動状況

【わた雪クラブ行事報告】

毎年8月に行う日帰り行楽ツアー。今年は22日(木)に西伊豆方面を巡るツアーとなりました。今年のクラブ総会で会長のユキさんから「たまには伊豆もいいなあ。」と要望もあり計画を加藤が進めました。

今年はクラブメンバーが3人と減少しましたが、残暑厳しい中でも全員元気に集合し早速出発。最初の目的地の西伊豆町を目指しました。毎年車を出してくださっている原さんにしてもユキさんにしても走り慣れた国道136号線。しかし、時の移り変わりは道や車窓の風景

も大きく変化させます。修善寺道路先の新たに開通した天城北道路や補強改良された船原峠の新道部分など、とびこんでくる以前と違う眺め。驚き感心しながらのドライブとなりました。

堂ヶ島を過ぎて西伊豆町へ。照嶺山東福寺(別名「ぼけ厄除寺」)を訪れました。ここで漆喰作りの五百羅漢像(拝観料200円)を見学しました。その名の通り500体もの羅漢さん(お釈迦様のお弟子さん)が本堂に入ると天井部から出迎えてくれます。宮大工が施工したと言われる天井中心部には「招福の龍」が渦巻き、四方に天女が舞っています。見事な漆喰の造形作品にユキさんは「すごい。伊豆にこんなのがあったんだ。」と感嘆の声をあげ、原さんも見上げた顔を動かさずに見つめていました。もともと豪商が父母の供養にと東京で見つけた造形家に頼んで造っていただいたようです。羅漢さんに囲まれて老夫婦の漆喰像も並んでいました。ただ「100年近くがたち、像の維持が難しい。」と案内してくださった東福寺の方が仰っていました。

見学の後は、原さんが知っている回転寿司があるので、お隣の松崎町へ。平日とあって空いていたので、ゆったりできました。目の前でおろしていた鰯を頼んだり、魚がたっぷり入ったアラ汁を堪能したりしながら、少し贅沢なお昼を楽しみました。

午後は元の西伊豆スカイラインを含む山稜線のルートをとって伊東を目指しました。宇久須という集落からまずは仁科高原へ向かいます。原さんのクルマでストレスなく標高900mまで登りましたが、霧がなかなか晴れてきません。車を進め伽藍山の展望台や達磨山山頂付近の駐車場で見下ろしても、土肥町やや戸田の港や町が僅かに望めるだけでした。帰りは来た道に戻るだけでは面白くないので、達磨山山頂から富士山や駿河湾沿いに御前崎まで眺めを楽しもうとしていたのですが、ここは残念ながら行けませんでした。

それでも、元東海バスの運転手だったユキさんが機転を利かせ、達磨山から原さんや私が知らなかった道を案内してくださいました。さらに来年のオリンピック会場の一つ「伊豆ベロドローム」へ寄って準備の様子を覗くドライブになったので、伊東への帰り道が全く退屈せずにすみしました。3人とはなったクラブメンバーのツアーは無事ゴール。午後5時から成功を祝って飲み会に突入して、1日を締めくくりました。

(文責：加藤直宏)

【ボーゲン】

恒例の2月の野沢温泉スキーツアーとしては、今回初めて半泊を含めて2.5泊としました。おかげで、翌朝は体が楽になりました。参加者は瀧山、丹羽、鈴木(クラブ員外)、神戸の4名です。

3日間共に天気も比較的良く、3人は3日ともスキーで、私は3日目は温泉巡りをしました。

【ゆきんこ】

6/9 39回総会

7/14 スキー板チューンナップ

7/15 バーベキュー(中止)

8/3-4 キャンプ 梅が島キャンプ場

9/14 ハイキング 竜爪山

6. 連絡事項

・正月でお世話になっている竜王荘ですが、ハイエースを手放したとのことです。ゲレンデへ送迎はなくなり、各自マイカーで移動するようになります。(宿の好意でやっていただいた恒例の餅つきもなくなるかもしれません。) ご了承願います。

・栗岩会長への病氣見舞いカンパ、ご了承とご協力、ありがとうございました。下記金額を振り込みました。

県スキー 20,000 円

有志 8,000 円

・【長尾前会長御逝去のお知らせ】

既に新聞等でご存じの方もおられると思いますが、全国勤労者スキー協議会前会長の長尾正二様が9月29日御永眠されました。長年にわたり、スキー協活動の前進に御貢献されてきた長尾元会長。今年3月にはスキー協の50周年記念ウィーク行事の先頭を切って開催された全国スキー競技会で、85歳の御高齢ながらコースを攻め立てる元気なお姿を見せていただいたばかりでした。本当に残念でたまりません。御冥福をお祈りします。(文責 加藤直宏)

6. スキーマイトについて

教程学習会で、スキーマイト181号を使い足裏切り替え、谷足戻りの理解を疑似斜面を使い実際に動き確認しました。

詳細は、次回通信で報告します。